

『新青年』を彩り続けた傑出のアルチザン

没後50年

松野一夫展

2023年 9月16日(土) - 11月12日(日)

開館時間 = 午前10時 ~ 午後6時 (入館は午後5時30分まで) **会期中無休**
観覧料 = 一般1300(1000)円 / 高大生800(600)円 / 小中生600(400)円

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。なお障害者手帳を提示の方とその同伴者1名(身体障害者手帳に
ついては等級が1~4級の場合に限る)は無料。北九州市在住の65歳以上の方は2割減免(公的機関発行の証明書
等の提示が必要)。※前売り券は、ローソンチケット(ローソン、ミニストップ)、チケットぴあ(セブン-イレブン)、セブン
チケット(セブン-イレブン)、e+イープラス(ファミリーマート)、小倉井筒屋、北九州モノレール主要駅で販売。※ローソ
ンチケット、チケットぴあ、セブンチケット、e+イープラスについては、展覧会開催中は当日料金での販売となります。

北九州市立美術館分館

〒803-0812 北九州市小倉北区室町一丁目1番1号 リバーウォーク北九州5F
tel. 093-562-3215 <https://www.kmma.jp>

主催 = 松野一夫展実行委員会(北九州市立美術館、読売新聞社) / 後援 = RKB毎日放送、九州旅客鉄道株
式会社、西日本鉄道株式会社、北九州モノレール、筑豊電気鉄道株式会社、株式会社スターフライヤー /
協力 = リバーウォーク北九州

松野一夫「影の秘密」(モーリス・ルナル/アルベル・ジャン) 複製原画(『新青年』第
12巻第3号) 紙に墨、インク 1931年 個人蔵 ©Nagako Iwai 2023/AJA2300086

Kazuo Matsuno (1895-1973)

An outstanding artisan who continued to add charm to the "SHINSEINEN"



松野一夫は、1895年、福岡県小倉市堺町（現北九州市小倉北区堺町）に生まれました。上京後、ドイツ帰りの洋画家 安田稔のもとで絵を学びます。1921年、第3回帝展に初入選しましたが、前年より雑誌『新青年』の編集長 森下雨村に認められて同誌に挿絵を描き始めていた松野は、挿絵画家としての成功によって次第に洋画壇とは疎遠になっていきました。

『新青年』では、多くの連載小説の挿絵も担当しながら、1921年5月号より1948年3月号までの表紙絵を約27年にわたってほぼ一人で描き続けました。翻訳小説における西洋の人物や風俗の描写に定評があり、自身も国籍に応じて人物の顔を描き分けることができると自負していました。松野は、少女雑誌のファッションページや少女小説、児童雑誌の表紙や小説など、あらゆる分野の挿絵で多くの人を魅了しました。ほかにも、本の装丁や絵本の出版など、その仕事は多岐にわたります。晩年には、個人的な楽しみとして、墨と淡彩を用いた郷愁を誘う作品を多数残しています。

『新青年』の挿絵画家として知られる松野一夫。本展では、『新青年』はもちろん、そのほかの分野の多彩な仕事や、これまであまり紹介される機会がなかったバリ滞在期のスケッチや油彩画、晩年の水墨画なども含めて、幅広い作品群から類まれなる画業の全貌に迫ります。

さまざまな分野の挿絵で多くの人を魅了した『新青年』の挿絵画家——松野一夫(1895-1973)



		1	
2		3	
4	5	6	7

- ①「黒死館殺人事件」(小栗虫太郎) 第1回原 挿絵原画 (『新青年』第15巻第5号) 紙に墨、インク 1934年 世田谷文学館蔵
- ②「何者」(江戸川乱歩) 第28回 挿絵原画 (『時事新報』夕刊 1929年11月27日～12月29日 全28回) 紙に墨、インク 1929年 弥生美術館蔵
- ③「サムと談童」(マッカーレー) 挿絵原画 (『新青年』第10巻第1号) 紙にインク 1929年 個人蔵
- ④「パリの街角」板に油彩 1931-32年頃 個人蔵
- ⑤「四つのクリスマス」より「ボヘミア」(『少女の友』第27巻第12号) 紙に水彩 1934年 早稲田大学倉津八一記念博物館蔵
- ⑥「雲の兄妹」(北條誠) 第106回 挿絵原画 (『よみうり少年少女新聞』1958年4月26日～12月30日 全107回) 紙に水彩、鉛筆 1958年 個人蔵
- ⑦「小倉絵巻」(部分) 紙に墨、淡彩 1960年代 北九州市立自然史・歴史博物館蔵

©Nagako Iwai 2023/JAA2300086

—— 没後50年、類まれなるその画業の全貌に迫ります



北九州市立美術館分館

KITAKYUSHU MUNICIPAL MUSEUM OF ART, RIVERWALK GALLERY
リバーウォーク北九州5F
〒803-0812 北九州市小倉北区室町一丁目1番1号
電話093-562-3215 <https://www.kmma.jp>

アクセス ●JR=小倉駅から徒歩10分/西小倉駅から徒歩5分
●西鉄バス=「小倉駅バスセンター」から島町・ソレイコホール方面行きのバスに乗車、「室町・リバーウォーク」バス停で下車/西鉄天神高速バスターミナルから高速バス(いとろび号(小倉方面行き))に乗り、「西小倉駅前」で下車 ●車(北九州市道高蔵道路) = 「小倉駅北」ランプより5分/「大手町」ランプより0.5分
※観覧料では駐車場利用別の割引はございません



イベント

ギャラリートーク

9月17日(日)、10月1日(日)、
10月29日(日)
●時間=11:00～11:30
●集合場所=5階ロビー
●参加費・事前申込み不要
*展覧会観覧料が必要です。

同時開催

※別途観覧料が必要です。
北九州市立美術館 本館 (北九州市戸畑区西箱ヶ谷町21-1)
コレクション展Ⅱ 特集 Re:1993
[ゲスト展示: guest room 008]
ナウ・ラウンチャイン Place of Rebirth 新生の地
8月26日(日)～12月17日(日)
石岡瑛子 デザイン 9月9日(日)～11月12日(日)